

令和6年度日中サービス支援型指定共同生活援助評価シート

評価日:令和7年2月20日

評価事業所名:ふわふわ古河旭町

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会記入欄】 ※グレー枠はプルダウンで選択 要望・助言・その他を選んだ場合は内容を記載
1. 地域に開かれた運営	①利用者に対する指定計画相談支援に提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等 19名中、19名	■特になし
	②実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 0名・ボランティア 0名 (受入事例) 実習生:精神保健福祉士の実習相談はあったが、最終的に他施設にて実習となる	■特になし ①積極的な受入れを要望します。
	③地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 無し	■要望・助言 ①利用者様の個性や特性など様々で、地域交流活動が難しい状況にあるのかもしれませんが、日中サービス支援型指定共同生活援助の「基本方針」(人員・設備・運営基準第213条の3)日中サービス支援型指定共同生活援助の事業は、常時の支援体制を確保することにより、利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものでなければならない。また、地域住民又は地域活動との交流に努めているかが評価の視点となっています。 事業所内でも、どのような形で地域交流及び地域活動が図れるか積極的に検討し、実践に繋げて頂きたいと思う。 ②交流会のような場を設定しなくても、普段の生活場面を見直すだけでも地域とのふれあいの場があるのではないかと思いますので、記載できる内容を探していただければと思います。地域との連携は、努力義務ではあるが厚生労働省令(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準)第74条にて規定されているところである。今回「無し」との回答であることから、事業者として今後取り組まれるよう要請する。 ③交流機会が今後増えることを期待している。 ④会費等の課題もありますが、町内会への加入を検討されると良いかと思います。地域の情報を得たり、顔の見える関係性を築ききっかけになるかもしれない。 ⑤市内のイベントや地域行事(行政区など)の参加には、移動手段や職員の同行等も考えなくてはなりませんが、参加交流の機会が増えると思う。
2. 常時の支援体制の確保	①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 日中・土日共に階ごとに、2~3人を配置。	■特になし
	②災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 消防計画・災害対策マニュアルの作成 避難訓練の実施(R6年度7月・1月に実施) 災害時訓練の実施(R6年度3月に実施予定)	■要望・助言 ①BCPIにつきましては、現場レベルでの事業所や地域の特徴や特性に合った具体的な業務継続計画が作成できるように検討をお願いいたします。また、BCP策定が終了ではなく、当該業務継続計画に従い必要な措置を講ずること(研修の実施、訓練の実施見直しや更新を随時実施)が必要ですので、災害時等が発生した際に有効かつ効果的に活用できるように研修や訓練の実施も併せてお願いしたい。 ②BCP(業務継続計画)について、事業者として策定をしているようであるが、その意味や内容を施設が十分に理解できているとはいえない。また当該計画に基づく訓練もしているかどうか、本報告では分からないことから、令和3年度介護報酬改定における改定事項で定める内容を施設として満たしているか疑問が残る。ついては、自立支援協議会の会議の中で委員長が仰ったとおり、施設に対して事務局に別途追加報告を求めるときにはどうかと史料する。 ③本部にBCP計画があれば、現場でも共有していただきたいと思う。 ④小さな避難訓練の実施を要望。保護者との共通理解も必要。
	③体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等)連携している訪問看護事業所(MGK24茨城)へ連絡し、対応方法について指示を受ける。 →必要に応じて主治医や連携医療機関(ソフィアホームケアクリニック・東西在宅クリニック等)へ連絡。	■特になし
	④利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) 嚥下状況に応じてペースト食~刻み食に対応している。また服薬や健康等による禁忌食がある方については、食材の変更を行っている。 (献立作成法) 食材提供者(タイハイ)へ依頼。タイハイが作成する献立を踏まえて調理を行う。	■特になし ①利用者の嚥下状況に応じた食形態に対応されていることは評価できる。 ②(費用面等でなかなか難しいとは思いますが)栄養面だけが整っているだけでなく、見た目(目で見る)でも美味しそうだったりするような食事だと毎日が楽しく感じられると思う。
3. 短期入所の併設	①地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 6名(古河市3名 下妻市1名 八千代町1名 幸手市1名)	■特になし ①緊急時に積極的な受入をお願いしたい。
	②緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(通常受入人数) 7名(内1名はGHで受け入れ) (緊急受入事例) 本人退院後の単独生活が困難:2名 家族の入院による生活困難:2名 在宅生活の困難:2名 虐待案件:1名	■要望・助言 ①様々な状況があると思いますが、引き続き地域生活支援拠点事業としてご協力お願いしたい。 ②緊急時の受け入れを多数行ってくださり、ありがたいと思います。また、児童の受け入れをしてくださるのは心強いです。 ③積極的に受け入れをされていることは評価できる。 ④可能なかぎり受入をお願いしたい。

4. 支援の実施・質の確保	①充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) ・利用者の買い物付き添い、買い物の依頼があった際の対応(週2~4回) ・日帰り旅行やクリスマス等のイベント(年3回)	■特になし
	②支援の質の確保に努めているか。(研修等)	(参加した研修名等) 研修(5)名 初任者研修 研修(1)名 実務者研修 研修(2)名 茨城県虐待防止・権利擁護研修等々 (自組織で開催した研修) 時期 毎月1回 内容 虐待防止・身体拘束に関する研修 参加者 全スタッフ ※他 感染対策・記録・グループホーム概要等の研修を実施	■特になし
	③一定の研修を終了した者を配置しているか。	・強度行動障害支援者養成研修【基礎】1名・【実践】1名 ・行動援護従事者養成研修 名 ・各痰吸引等研 【第一号】名【第二号】名【第三号】名 ・重度訪問看護従事者養成研修行動障害支援過程名	■特になし ①行動援護従事者養成研修、各痰吸引等研、・重度訪問看護従事者養成研修行動障害支援過程を満たした人はいないのか、いれば記載願う。また、いないのであれば0名と記載願う。
	④体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 0名(R6年) (体験利用の事例) (体験利用料金) 2,503円/泊(食費等含む) ※過去には精神科病院入院を受け入れる際に体験を行ったり、自宅生活者はSSを複数回利用しての入所となった経過はある	■特になし ①体験利用が今後増えることを期待している。 ②積極的に体験的利用を行っていただきたい。
	⑤改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) ・半年に1回lon1ミーティングを全スタッフに実施 ・毎月の全体会議にて課題と目標を議題とし、振り返りも行う。 (利用者・家族からの意見・希望) (利用者)・現場の中で適時本人へ声掛け ・モニタリング面接にて確認 (家族)・外出外泊等で訪問時に確認 ・電話連絡の際に確認 (苦情受付体制について) ・あり (家族等への連絡機会・頻度) ・外来受診の調整 ・緊急受診が必要な際の報告 ・預かり金不足 ・外部サービスの利用 ・本人からの面会等の依頼 等々	■特になし
5. 利用者の権利擁護等への配慮について	①利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) ・金銭管理契約書を作成 ・入金時に預かり書を作成 ・毎月の出納帳作成(本人か家族へ提示) (成年後見制度の利用支援及び利用者数) 利用者数:0名 ・利用支援事例等 しんらいの会 1名利用 日本福祉サポート 1名利用	■要望・助言 ①食費・日用品費・光熱水費の利用者実費精算について、毎日に計算を実施されているのは大変素晴らしいと思いました。今後も適切な方法にて継続して行って頂きたいと思う。 ②確認事項になります。なかなか使用量が分かりづらいと思いますが、電気代や上下水道代について、毎日の精算はどのように実施しているのか参考までにご教示頂ければと考えている。 ③光熱水費などの実費負担分の返金など、現場が把握していないのでは？と思われる状況だったので、改善が必要と考える。 ④令和6年6月26日付け指定取消処分理由になった「過大徴収した食材料費」について、施設としてどのように改善したのか、この報告では不明確である。また委員から「過大に徴収した食材料費をどのように返金するのか」という質問を受けても、施設担当者が明確に説明できていない、さらに施設が誤解を受けるような資料を協議会に提出していることから、この点について改善されているのか疑問が残る。施設に対して、この点についてどのように対応しているのか、再度事務局に報告を求めるよう要望する。 ⑤金銭管理は適切に実施されていると思いますが、利用者や家族に疑念が生じないように清算等は適宜に実施していただきたいと思う。 ⑥利用者⇄事業所⇄本社機能において、しっかりと共通認識に立った管理を行っていただきたい。今回指摘のあった点についての改善点の報告を乞う。
	②利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取組み) ・個人情報使用の同意書(プライバシーポリシー)の作成 ・個人情報書類は鍵付き書庫にて保管 ・個別支援計画書は本人または家族の署名 ・外部サービスの利用は本人または家族の同意	■特になし
5. 利用者の権利擁護等への配慮について	③虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) ・毎月1回施設内にて虐待防止研修実施(レポート提出) ・半年に1回テストを実施 (虐待発生時の対応、発生後の対応等) ①利用者より虐待を目撃したとの報告 →被害を受けたと言われた利用者、容疑のかかったSt及び、その場にいた複数のSt・利用者に状況を確認 →虐待防止委員会にて内容を精査 →虐待の可能性が有と判断し、当該自治体へ報告 ②他事業所のStが当施設利用者へ性的虐待・心理的虐待(当施設Stが目撃) →古河市虐待防止センター(障がい福祉課)へ報告 →市が調査に入り、情報と防犯カメラ映像を提供する	■特になし ①毎月、虐待防止についての研修を実施しているのは素晴らしいと思う。虐待案件について、発見後に市への報告等はできていると思う。ただし、複数件虐待と思われる事案が起きているので、今後は虐待を未然に防ぐ取り組みがあると良いと思う。

6. 入居/退去状況について	①報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 3人 (報告・評価対象年度の退去者数の事由) ・退去者数 4人 ・主な退去事由: ①対人関係の問題 ②入院先の病院にて逝去 ③施設ルールに対する不満 ④強い単身生活の希望	■特になし
7. 他の日中活動サービスの利用	①GH内でのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGHで過ごす利用者に対する支援・サービスの提供) ・食事、入浴、清潔保持等の介護支援 ・掃除、洗濯等の生活支援 ・買い物同行や買い物代理対応、散歩同行等の社会生活支援	■特になし ①余暇の時間も楽しめるような活動や、本人の趣味が見つかるような支援などもあるとよりよくなるかと思う。
	②他の日中活動サービスの利用を妨げていないか。	(他の日中活動の利用状況) 他の日中活動サービスを利用19名中、17名 資料10参照 (主な他の日中活動サービス種類・利用先) ・生活介護:ありがたの花/まくらがの里/ おおぞら/ホーム宙 ・就労B:リハワーク古河/サフラン工房/ 総活躍古河 ・地活センター:ふれあい ・精神科デイケア:小柳病院 ・通所リハビリテーション:平成園	■特になし ①日中、積極的に他の施設の利用をしており、利用者のニーズに寄り添った支援をされていると思う。
8. 利用者の健康管理	①日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	(医師や看護婦の訪問有無及び頻度) ・訪問看護の利用(MGK24茨城) 19名利用(週1~2回) ・往診(東西在宅CLまたはソフィアホームケアCL) 18名利用(月1~2回) (健康チェック方法について) ・毎日のバイタル測定 ・食事摂取量の確認 ・訪問看護との情報共有 (緊急時連絡体制の確保) ・管理者またはサビ管への24時間連絡体制 ・訪問看護(MGK24茨城)への24時間連絡体制 ・往診医療機関(ソフィアホームケアクリニック)への24時間連絡体制	■特になし ①年に1回程度の健康診断なども受けられるような機会があると良いのかもしれない。
9. 他事業所との連携	①相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) ①相談支援事業所 ・個別支援計画書の提示 ・他サービスの利用や支給量の相談 ・相談支援事業所のモニタリングでの状況報告 ②サービス事業所 ・連絡帳の記載 ・体調不良の連絡 ・本人への支援に関する情報共有や相談	■特になし
10. その他	[独自に定める項目を記載]		■要望・助言 ①来年度より義務化になる「地域連携推進会議」について、どのように実施していくか検討をお願いします。地域との連携という点では、地域交流や地域活動に繋がっていく可能性もあると考えています。 ②サービス担当者会議や個別支援計画の面談において、原則本人参加となっています。障がいのある方や特性によってはなかなか難しい状況もあると思いますが、利用者様の意思決定支援を引き続きよろしくお願ひしたい。 ③身体に障害のある方や長期的に退院が出来なかった方、医療的ケアが必要な方、強度行動障害のある方を積極的に受け入れられていることは評価にできます。今後も引き続き積極的な受け入れを期待します。
11. (2回目以降)協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応)	■特になし